

# S.G. Report

No.6

## 環境省 九州パートナーシップオフィス 澤 克彦 先生 講話

- 日 時：平成26年9月30日（火）本校体育館
- 参加者：本校一学年および職員
- 講演者：環境省 九州パートナーシップオフィス 澤 克彦 先生
- テーマ：『済々エコ若ラボ 済々多士がつくる持続可能な熊本・世界』
- 目 的：SG コースの設置に向け、第一学年の生徒全員が、環境問題に関して意識・関心を高める必要がある。環境の専門的知識を持った方の話を通して、現代の世界が抱える環境問題とは何なのかを生徒それぞれが考える機会を得ることで、生徒全体の環境問題に対する意識・関心を深め、その後の生徒の環境学習に向かう準備を整えることを目的とする。

### ●講師プロフィール

熊本市出身で、2004年6月より、環境教育・中間支援NPO 役職員として、自然体験プログラムや途上国での森林作り、企業と連携した環境教育プログラムを企画運営担当されている。2007年9月より、環境省九州環境パートナーシップオフィス（EPO九州）業務責任者として従事され現在に至る。EPO九州スタッフとして、協働取組や環境教育/ESD 活動の企画コーディネート支援も担当しておられる。



### 《講演趣旨》

「環境問題とはまったく興味がない人に対して、いかに興味をもってもらうか」がポイントである、という話し出しで、まず身近な熊本にまつわる環境を交えながら始まりました。

#### (1) 済々エコ若ラボとは？

SGHとして認定された済々麓の生徒一人ひとりが環境問題を身近な自分の事、チャレンジが必要なこととして受け止め、主体的に行動する若者になるための自発的な学びの場である。10月28日に第2回済々エコ若ラボでテーマ別の分科会、11月4日の第3回済々エコ若ラボでテーマ別の分科会での課題掘り下げをし、理解を深めていく場となるよう、講演していく。

#### (2) 環境課題とは？

自然環境（水・土・森・海・生物など）だけの問題ではない。自然環境と人間社会の間にある問題＝人間社会の問題、人と人との間の問題を含む＝コミュニケーションの問題とである。環境課題は単品ではなく、複合として表出しており、いずれの課題も、規模・影響が多様化している。誰かが解決してくれるものではない。自らの行動を通して変えていく\*マインドセットが必要なのだ。身近な地域の環境課題に向き合う態度を基盤に、世界各国の取組や活動をとらえていこう。\*マインドセット：思考様式

## 《生徒の感想》

私は「現代は未来からの借り物である」と言う言葉に感銘を受けました。持続可能な社会の基本となる未来志向をととても上手に言い表していると思ったからです。私は食べ物に困ったことはないし、冬の寒い日にはストーブや暖房を使うことも出来る。しかし、それらは有限で私が見境なく使ってしまうば、未来を生きる人が使えなくなってしまう。環境が悪化すると人の選択肢を奪うことになると聞き、改めてなくてはならないものが多いかあると思いました。また、環境問題を一部の人に任せるのではいけないと感じました。そして私自身が一部の人になるのも良くないと気づきました。～後略～(KA)

前回までの世界を規模に入れた話しとは異なるものでした。環境は自分たちと相互に影響を与えているため、今回の講演は自分にとって身近なものであるように感じる事ができました。

私が今回の講演で一番心に残ったことは、私たちが今住んでいるこの世界は、ずっと前の過去で成り立っていると言うことです。そして私たちは未来の世代にこの世界を引き継がなければならないということも感じました。

～中略～今回の講演ではグローバルな視野と地域社会への視野のどちらとも大切さを感じました。

(NA)

SG講演会と言うことで、外国のほうに意識が行きがちでしたが、まずは自分の国である日本、住んでいる熊本、もっと身近なところで地域のことを知ることが第一歩だなどと思いました。～中略～これまで「〇〇と思ったから、△△をしよう、と思った」という感想を持っていましたが、なかなか行動に移すまでにはいきませんでした。しかし、今回は自分の考えを行動にしたいです。「現代は未来の借り物である」という言葉がとても心に残りました。

(YM)

～前略～

「環境問題をどれだけ自分のこととして人任せにせずに行けるか」という言葉が印象的でした。私はこれからの解決策を自らの頭で考え、実際に行動に移していかなければならないと思いました。自分にはまだそこまで出来ていないことに気づかされたからです。自分を振り返るいい機会となりました。また、現代は未来からの借り物であると言うことも新鮮な考え方でした。未来に残しておくべきことを守る「環境保全」や「持続可能な社会」がキーワードだと学んだので、もっと勉強して、それらに対する知識や考えを深めていきたいと思っています。テーマ別分科会が楽しみにになりました。(YC)

今回の講演で2つのことを学んだ。1つ目は「コミュニケーションの大切さ」だ。澤さんは課題を解決されるときに多くの分野の人と意見を交換するそうだ。このようにすることで考えを共有し、より多面的に物事を考えることができるようになるのでは、と思った。2つ目は「協力することの大切さ」だ。大きなことをするためには相手との連携が必要と澤さんはおっしゃっていた。そのためには相手と対等な関係を結び信頼されるように常に自分の行動に責任を持たなければいけないと思った。～後略～(YY)

環境問題に対する認識が変わったように感じます。今までは環境問題を言えば、地球温暖化の問題や森林伐採などの自然の問題だと思っていました。「環境目」の問題。そのように考えたことは一度もなかったので、環境問題は人間と人間のコミュニケーションの問題でもあると言うことが、とても新鮮に聞こえました。環境問題は複合的に表出するということを実感し、そう考えると私にも出来ることのあるのだと改めて思いました。課題と向き合う姿勢を大切にしていきたいです。～後略～(KM)

